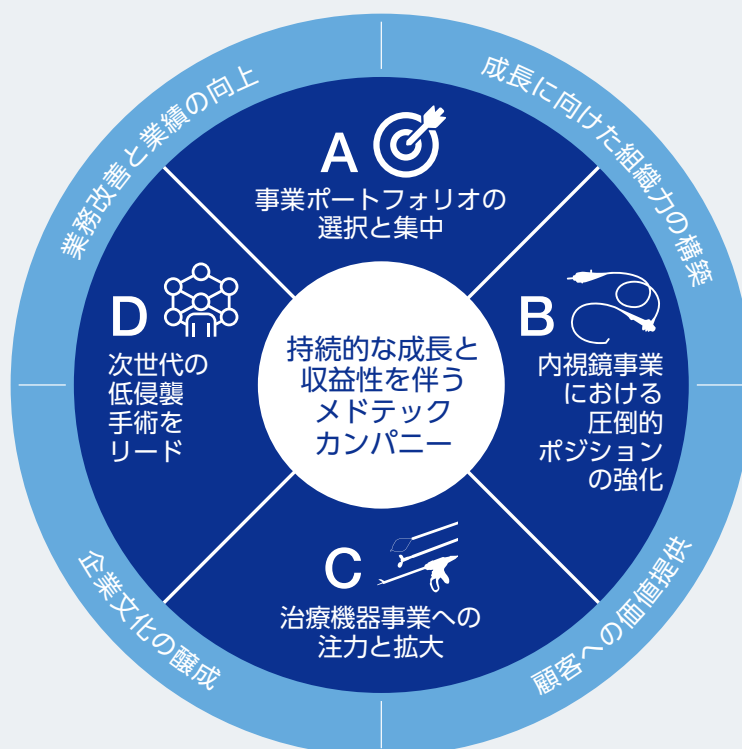


経営戦略における重点項目

4つの重点項目の進捗

オリンパスは、経営戦略において、戦略目標として「世界をリードするメドテックカンパニーへと成長し、革新的な価値によって患者さん、医療従事者、医療機関、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康に貢献する」ことを掲げ、2023年3月期の業績目標として営業利益率20%超を目指します。この目標を達成するために、さまざまな取り組みを推進しています。



重点項目

A

● 映像事業の譲渡

映像事業を新会社として分社化し、日本産業パートナーズ株式会社が管理・運営等をする特別目的会社に対して譲渡する最終契約を2020年9月30日に締結

● 米国ノーウォーク工場の譲渡

NISSHA株式会社と米国における治療機器の製造拠点の一つであるノーウォーク工場をNissha Medical Technologiesに譲渡する契約を2020年8月6日に締結

重点項目

C

● 尿路結石の効率的な破碎により手術時間の短縮に貢献する「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」を発売

● ERCP、ESD、止血分野での新製品発売、また革新的なENDOCUFF製品群を有するArc Medical Designの買収により、消化器科のポートフォリオ全体を拡充

重点項目

B

● 次世代消化器内視鏡システム「EVIS X1」を欧州、日本、アジア一部地域で発売

● 消化器内視鏡のCAD(検出・鑑別診断)を搭載したAIシステム開発を推進

重点項目

D

● 日本医療研究開発機構(AMED)の補助事業に採択された「情報支援内視鏡外科手術システム」の開発を推進